



他の模範となる青少年の功績を讃える 北海道青少年顕彰に佐々木さん！

11月11日、役場町長室において、北海道青少年顕彰の授賞式が開催されました。

本年度受賞したのは、緑町で両親と共に酪農業を営む佐々木淑雄さん(26)です。

佐々木さんは、高校を卒業後、すぐに酪農業に従事され、4Hクラブの役員として中心的役割を果たしており、一昨年、昨年と管内農業研究大会で優秀な成績を収めるなど、酪農経営に常に向上心を持って取り組んでおり、その姿勢は他の模範となるものと認められています。



「ホッカイドウ競馬」町内外へPR！

トレセン婦人部メンバーらが街頭啓発！

11月10日、トレセン婦人部の呼びかけで、最終日まで残りわずかとなったホッカイドウ競馬を町内外へPRするため、街頭啓発を行いました。

富川市街地の国道交差点には、ホッカイドウ競馬PR用の横断幕や旗を手にした婦人部員の他、J A 富川・門別女性部、日高助成軽種馬ネットワーク、町内ボランティアグループ、ホッカイドウ競馬を応援する会のメンバー等、およそ50名が並び、通行車両へ向けてPRしました。



富川南の鈴木禎子さんに記念品を進呈！

とねっこの湯、来館250万人達成！

11月23日、門別温泉とねっこの湯の来館者が250万人となり、250万人目の入館者となった、富川南の鈴木禎子さん(82)に記念品が贈られました。とねっこの湯は、平成11年10月に開館し、一昨年には来館者200万人を達成していました。

鈴木さんは、「週2～3回来ています。きれいで足下も滑りにくく、安心して入浴できます」と笑顔で話していました。

三輪町長は、「今年10周年を迎え、多くの皆さんに利用していただき、感謝しています。」と挨拶しました。

門別図書館郷土資料館へ「大活字本」 門別ライオンズクラブより寄贈！

11月11日、門別ライオンズクラブ(秋田勝之会長)から門別図書館郷土資料館へ「大活字本」9冊が寄贈されました。

「大活字本」は大きな活字で印刷された冊子で、お年寄りの方などが読みやすいものです。

門別ライオンズクラブは平成12年から毎年図書館への寄贈をさせていただいており、秋田会長から受け取った佐々木教育長は「毎年の皆さんの志に感謝しています」とお礼を述べました。





「日高門別土地改良区」の誕生へ向けて 土地改良区(門別・日高町)が来春合併

11月24日、門別土地改良区と日高町土地改良区の合併予備契約調印式が門別公民館で行われました。

両土地改良区は、来年4月の合併へ向けて、平成18年から検討を進めてきており、今年協議会を発足し、統合基本構想が決定しました。

合併は来年4月1日とし、新名称は「日高門別土地改良区」となります。

調印式では、関係者の見守る中、両土地改良区理事長ら6人が契約書に署名し調印しました。

「ホッカイドウ競馬」今年度の全日程を終了 門別競馬場でイベントを開催！

11月19日、ホッカイドウ競馬開催は本年度の最終日を迎え、門別競馬場には大勢のファンが詰めかけました。

17日からの3日間は、「ファン感謝ウイーク」として、各種イベントを実施。特に最終日となった19日は、来場者プレゼントや、豪華賞品が当たるファン感謝抽選会、ファン握手会&交流会などのイベントが開催され、スタンドは満員状態となる盛況ぶりでした。

メインレースの「道営記念」では、ヤナガワ牧場生産のコパノカチドキが優勝しました。



新たに「富川農業協同組合」が認定 消防団協力事業所に表示証を交付

12月2日、役場町長室において「日高西部消防組合消防団協力事業所表示証交付式」が執り行われ、事業所の代表者が矢野副町長から認定証と表示証の交付を受けました。

日高西部消防組合では、本年9月1日に日高・胆振支庁管内で初となる消防団協力事業所の認定及び表示証の交付を行い、この度新たに富川農業協同組合が認定され表示証の交付を受けました。これにより、日高西部消防組合では管内19事業所が消防団協力事業所として認定されました。



「車椅子のJリーガー」京谷さんの講演・実演 夢、出会い、そして感謝と題して講演

11月29日、日高町体育協会主催によるスポーツ講演会が開催され、車椅子バスケットボール日本代表としてパラリンピック3大会出場の京谷和幸さんの実演と講演に約250人が駆けつけました。「夢、出会い、そして感謝」と題した講演会では、プロサッカー選手になるまでのエピソードや交通事故により車椅子生活を余儀なくされ、初めて味わう挫折感を語り、今の自分があるのは「これから二人で頑張りましょう」と言ってくれた妻や知り得なかった人や仲間たちの多くの出会いがあったから、自分一人では生きていけないので人との出会いに感謝し、あきらめることなく夢に向かって真剣に取り組んでほしいと語りかけていました。



日高町では約3年ぶりの
中央競馬G1勝利
幾千世牧場(有)生産馬
エスポワールシチー号
ジャパンカップダートを制する！

12月6日、中央競馬国際指定競走(G1)ジャパンカップダートが阪神競馬場で開催され、幾千世牧場(有)生産の「エスポワールシチー号」が優勝しました。

日高町では、約3年ぶりのG1馬誕生となり、牧場には関係者が次々に祝福に訪れました。

レース時は社長の鹿戸照美さんは競馬場で応援しているため、留守を預かる母のイトさん、妹の美由紀さんら、関係者がテレビの前で応援しました。

レースが始まると、終盤直線でエスポワールシチー号が後続を引き離し、3馬身半離して快勝しました。この勝利で、重賞はマーチS、かしわ記念(交流G1)、マイルCS南部杯(交流G1)に続いて4勝目となりました。

美由紀さんは、「牧場にいたときは、とても素直な仔だったという印象。なかなか勝てないときもあったので、本当に嬉しい」と笑顔で話していました。

全国に強さを見せつけたエスポワールシチー号の今後の活躍が期待されています。

陸上自衛隊北海道補給処日高弾薬支処
献血功労表彰「金色有功章」を受賞

12月4日、陸上自衛隊北海道補給処日高弾薬支処において、献血功労表彰「金色有功章」の伝達が行われました。

この表彰は、献血協力20年以上となった同支処に対して感謝を表するため日本赤十字社から送られたものです。

この日は、工藤副町長が同支処を訪れ、記念の楯と記念品を手渡しました。



門別本町地区で「災害図上訓練」を開催
大地震を想定し「どうする？」

12月3日、門別本町地区の町内会役員や会員ら約50名が参加し、災害図上訓練(DIG)が行われました。DIGは、自分たちの住む地域での災害を想定し、みんなで対応を考える防災訓練で、近年、その重要性が注目されています。

この日は、震度6の大地震を想定して、8班に別れ、出し合った意見を班毎にまとめ発表しました。出される様々な意見に感心する声や笑いも起こり、楽しみながらも注意点を確認し合いました。非常食の試食も行われ、缶詰のパンやアルファ米のおいしさに驚く場面もありました。